

白中雑口把覧 (ザックバラン) No. 26

～ 白沢中の”今”を、ご覧ください ～

発行 令和2年10月19日

校長の白沢学その21「米倉 大謙氏」

書道家の米倉大謙氏は、現在の沼田市白沢町平出の正眼寺住職、米倉謙龍氏の次男として、明治37年(1904)2月に生まれました。幼いときの名は文二といました。旧制沼田中学校(現在の県立沼田高等学校)から東洋大学に進み、昭和4年長野原小学校で訓導を拝命し、旧制前橋中学(現在の前橋高等学校)や旧制師範学校(現在の群馬大学)教諭などを経て群馬大学教授となります。

書道の経歴は、大正9年、中学1年の時、群馬県学芸品展覧会習字の部で二等銀牌を受賞しました。

昭和5年、川場小学校訓導時代、当時の国内有数の書道団体である秦東書道院の第1回展に入選し、以来12回の入賞を果たしています。昭和10年から、日展審査員、日本芸術院賞受賞、文化功労者となった鈴木翠軒に師事しています。また、本人の書道としての研鑽はもちろんですが、書道教育振興のため、組織の創立や権威ある展覧会の企画・運営に携わり、書道の研究・普及活動に精力的に取り組み、小学校・中学校用の教科書の執筆なども多く行っています。

関係門下生は三千人を超えるといわれ、旧白沢村内には、碑文や作品、手紙などが数多く残されています。

日本書道連盟参与・評議員や、日本書道美術院理事、群馬県書道協会会長などを歴任し、昭和52年には勳四等瑞宝章を授章しました。また平成元年には、白沢村名誉村民となっています。主な著書としては、『たのしい習字』『小学書き方』『中学習字』などがあります。

平成6年10月、90歳でその生涯を閉じました。

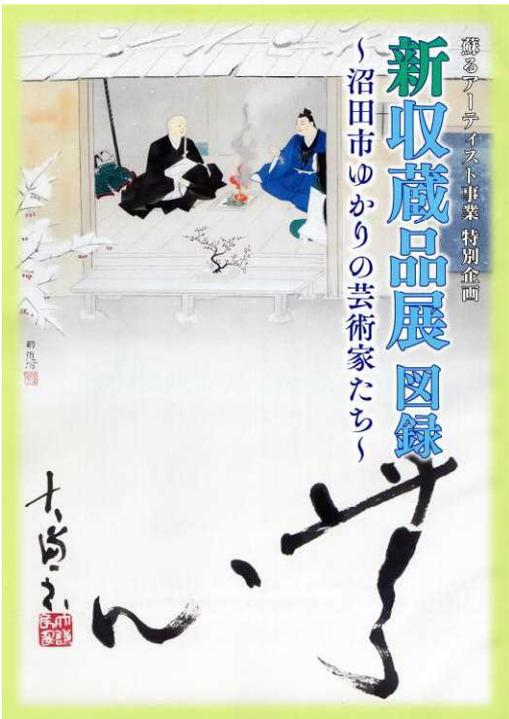
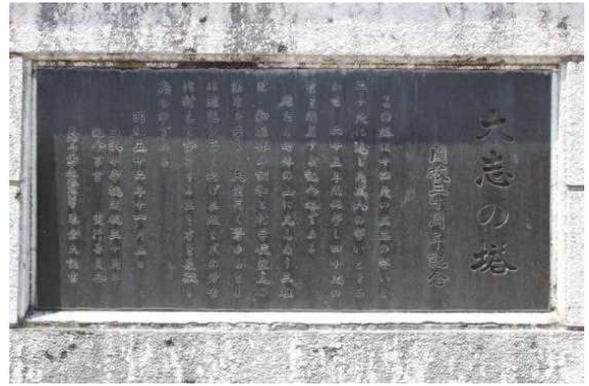
(高山正著『利根沼田の人物伝』を参考・引用)



↑ 平出の正眼寺

町内で米倉大謙氏の書を探すと、身近な場所にありました。白沢支所玄関横にある『白沢村民憲章』の碑文。そして白沢中学校の武道館入口の額。そして校庭にある大志の塔の銘文です。学校にあるものについては、早速見に行ってみましょう。





また、令和2年10月1日から31日にかけて、沼田市歴史資料館で企画展『新収蔵品展 ～沼田市ゆかりの芸術家たち～』が開催され、米倉大謙氏の作品が19点ほど展示されていますので、行ってみました。

現在も開催期間中で、しかも入場無料ですので、みなさんも、ぜひ実物を見てください。



【表彰】

明るい選挙啓発ポスターコンクール

- 入賞 2年 角田 頌泰
- 入賞 2年 杉本 美月
- 入賞 2年 金子明日莉
- 入賞 2年 阿部帆乃果
- 入賞 1年 平形 陽詩

沼田市読書感想文コンクール

- 課題図書部
- 優秀賞 3年 柴崎 七花
- 自由図書部
- 入選 3年 星野 光河